

アンケート調査結果

調査対象者：那覇軍港地権者 964 名

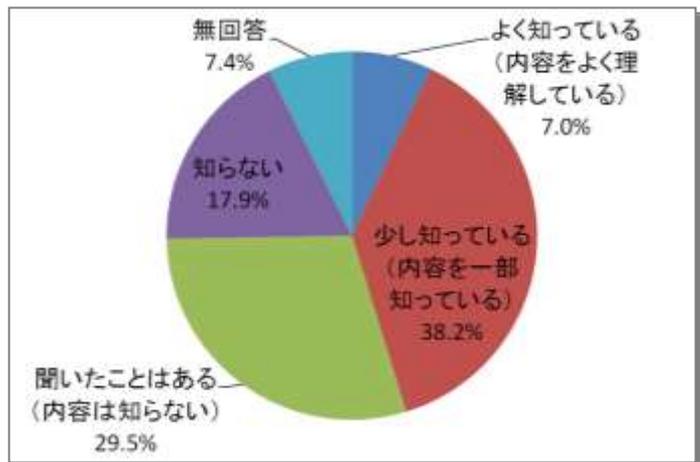
調査期間：平成 24 年 12 月 14 日から平成 25 年 1 月 18 日まで

調査方法：郵送による配布回収

回収数：285 票（配布数 964 票、回収率 29.6%）

問 1-1 あなたは、合意形成活動全体計画を知っていますか。（ひとつだけ○）

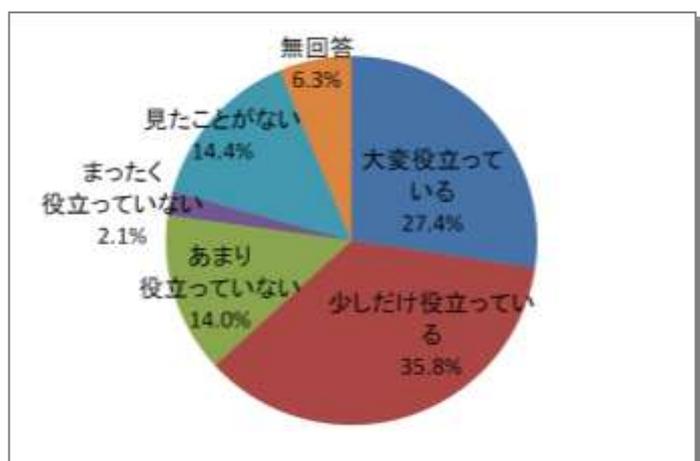
	回答数	構成比
よく知っている （内容をよく理解している）	20	7.0%
少し知っている （内容を一部知っている）	109	38.2%
聞いたことはある （内容は知らない）	84	29.5%
知らない	51	17.9%
無回答	21	7.4%
計	285	100.0%



- 約半数の地権者が合意形成活動全体計画の内容を知らない

問 1-2 これまで、がじゃんびら通信による情報提供と合意形成に向けた意識醸成を進めてきました。がじゃんびら通信は役に立っていますか。（ひとつだけ○）

	回答数	構成比
大変役立っている	78	27.4%
少しだけ役立っている	102	35.8%
あまり役立っていない	40	14.0%
まったく役立っていない	6	2.1%
見たことがない	41	14.4%
無回答	18	6.3%
計	285	100.0%

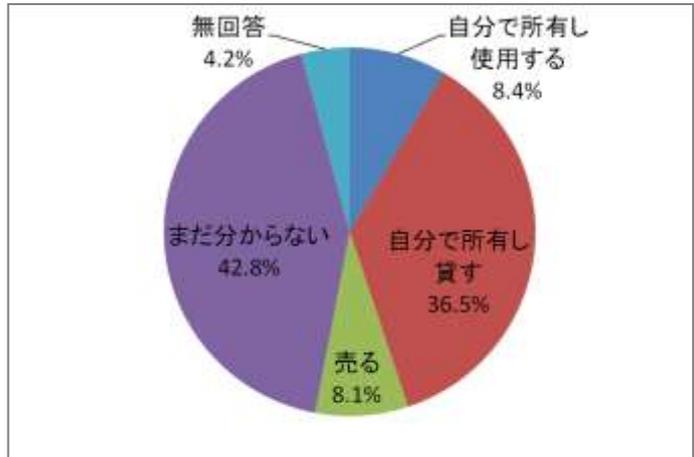


- がじゃんびら通信は、情報提供と合意形成に向けた意識醸成に役立っている

問 1-3 返還された場合、あなたは土地利用についてどのように考えますか。

(ひとつだけ○)

	回答数	構成比
自分で所有し使用する	24	8.4%
自分で所有し貸す	104	36.5%
売る	23	8.1%
まだ分からない	122	42.8%
無回答	12	4.2%
計	285	100.0%

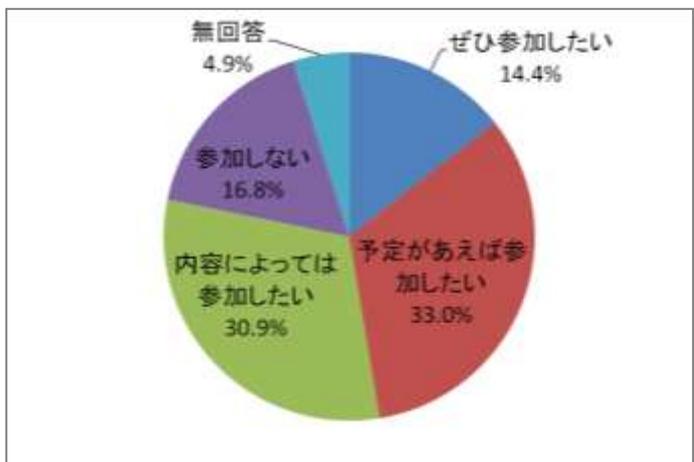


- 返還後の土地利用について、まだ分からないが多数

問 1-4 今後、勉強会や専門家による講演会を開催する際には参加したいですか。

(ひとつだけ○)

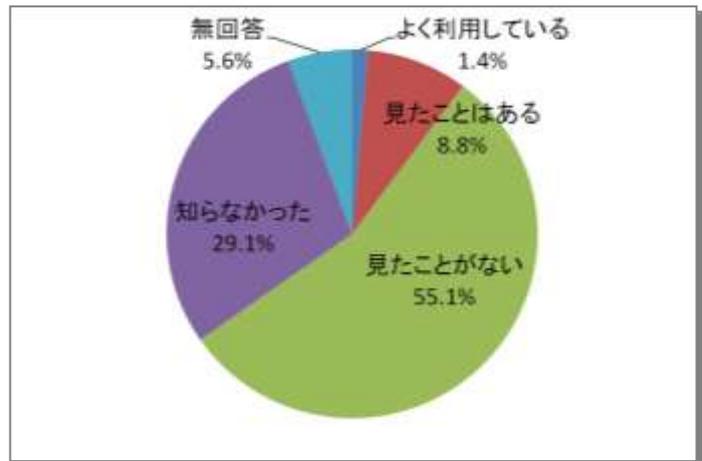
	回答数	構成比
ぜひ参加したい	41	14.4%
予定があれば参加したい	94	33.0%
内容によっては参加したい	88	30.9%
参加しない	48	16.8%
無回答	14	4.9%
計	285	100.0%



- 勉強会や講演会への参加意向は高い

問 1-5 あなたは、ホームページから情報を得たことがありますか。(ひとつだけ○)

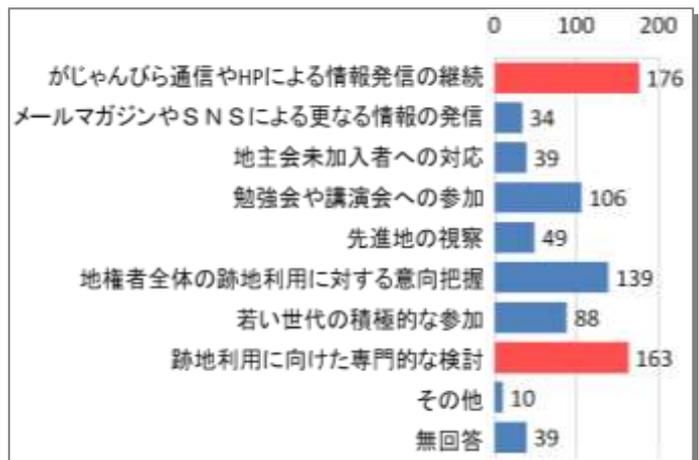
	回答数	構成比
よく利用している	4	1.4%
見たことはある	25	8.8%
見たことがない	157	55.1%
知らなかった	83	29.1%
無回答	16	5.6%
計	285	100.0%



- 市のホームページから情報を得ている人は少ない

問 2 合意形成活動全体計画では、上記以外にも下記の活動を掲げています。今後の跡地利用に向けた合意形成のための活動として特に必要なことを右側からお選びください。(あてはまるものすべてに○)

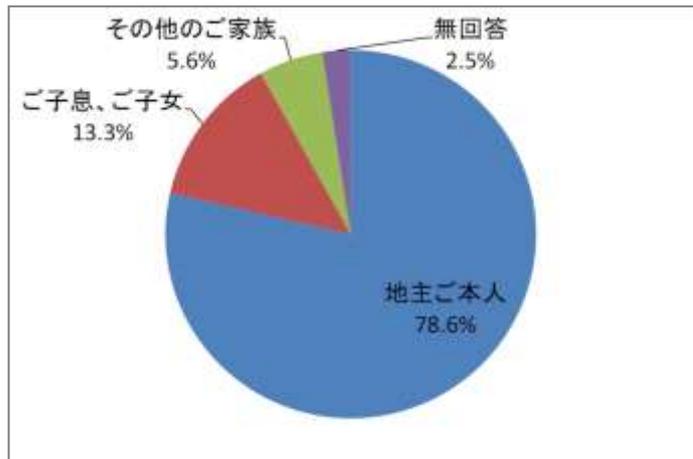
	回答数	構成比
がじゃんびら通信やHPによる情報発信の継続	176	20.9%
メールマガジンやSNSによる更なる情報の発信	34	4.0%
地主会未加入者への対応	39	4.6%
勉強会や講演会への参加	106	12.6%
先進地の視察	49	5.8%
地権者全体の跡地利用に対する意向把握	139	16.5%
若い世代の積極的な参加	88	10.4%
跡地利用に向けた専門的な検討	163	19.3%
その他	10	1.2%
無回答	39	4.6%
計	843	100.0%



- 今後の活動については、「跡地利用に向けた専門的な検討」と「情報発信の継続」が必要

問 3 今回のアンケートの回答者はどなたですか。(該当する番号ひとつにだけ○)

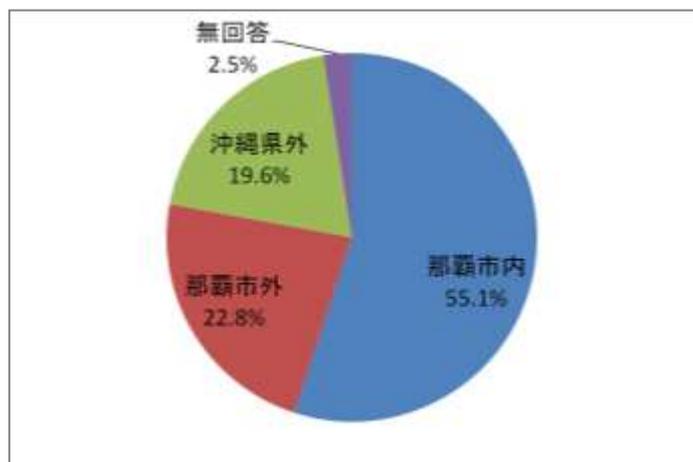
	回答数	構成比
地主ご本人	224	78.6%
ご子息、ご子女	38	13.3%
その他のご家族	16	5.6%
無回答	7	2.5%
計	285	100.0%



- 地主ご本人による回答が約 8 割弱

問 4 回答者の居住地はどこですか。(該当するひとつにだけ○)

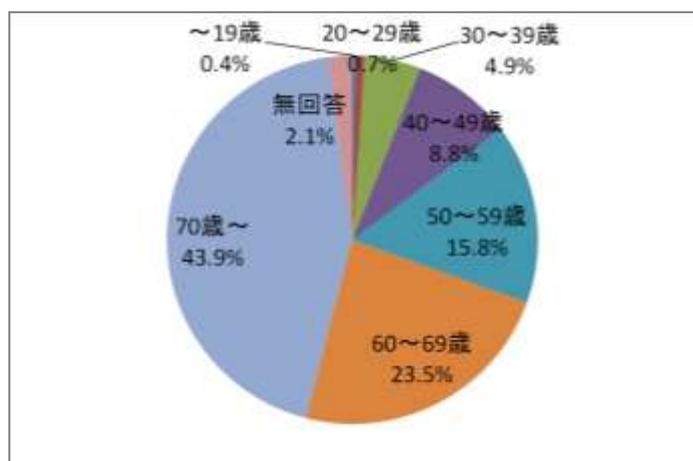
	回答数	構成比
那覇市内	157	55.1%
那覇市外	65	22.8%
沖縄県外	56	19.6%
無回答	7	2.5%
計	285	100.0%



- 那覇市内にお住まいの地権者は約 5 割半

問 5 回答者の年齢はいくつですか。(該当する番号ひとつにだけ○)

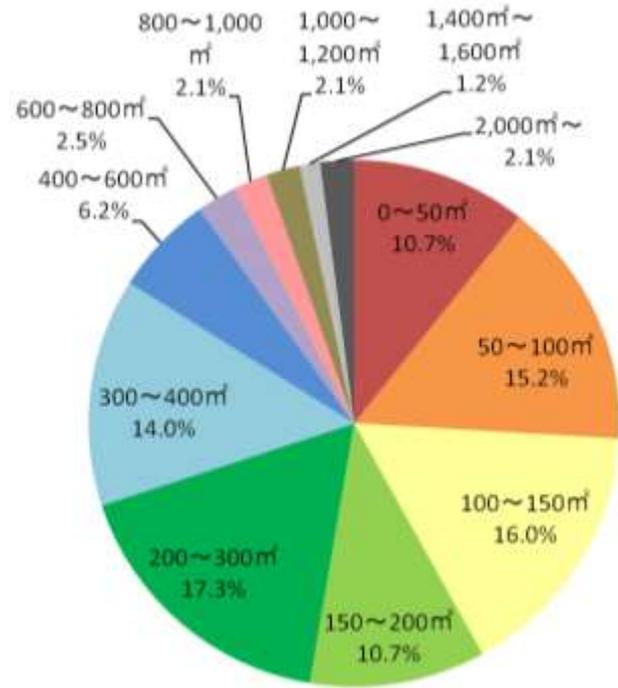
	回答数	構成比
～19歳	1	0.4%
20～29歳	2	0.7%
30～39歳	14	4.9%
40～49歳	25	8.8%
50～59歳	45	15.8%
60～69歳	67	23.5%
70歳～	125	43.9%
無回答	6	2.1%
計	285	100.0%



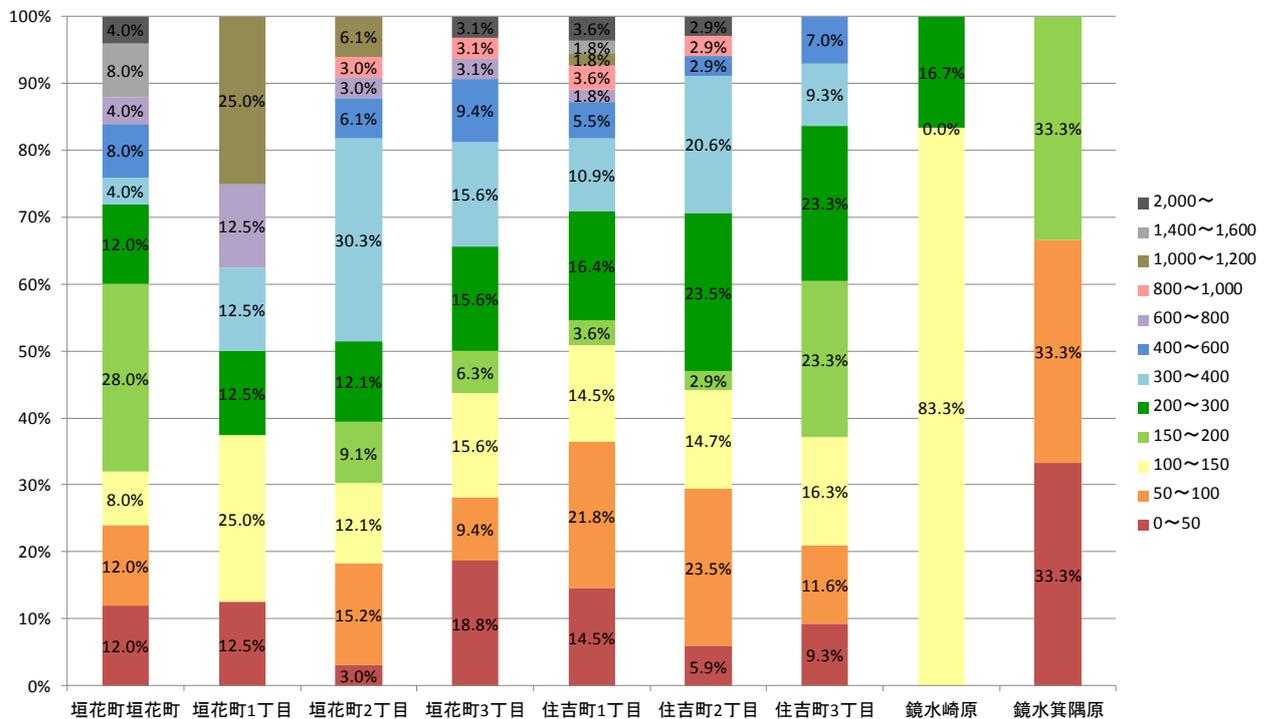
- 60歳以上の地権者が約 7 割弱

問 6 那覇軍港内に地主の方がお持ちの土地の場所、面積について教えてください。

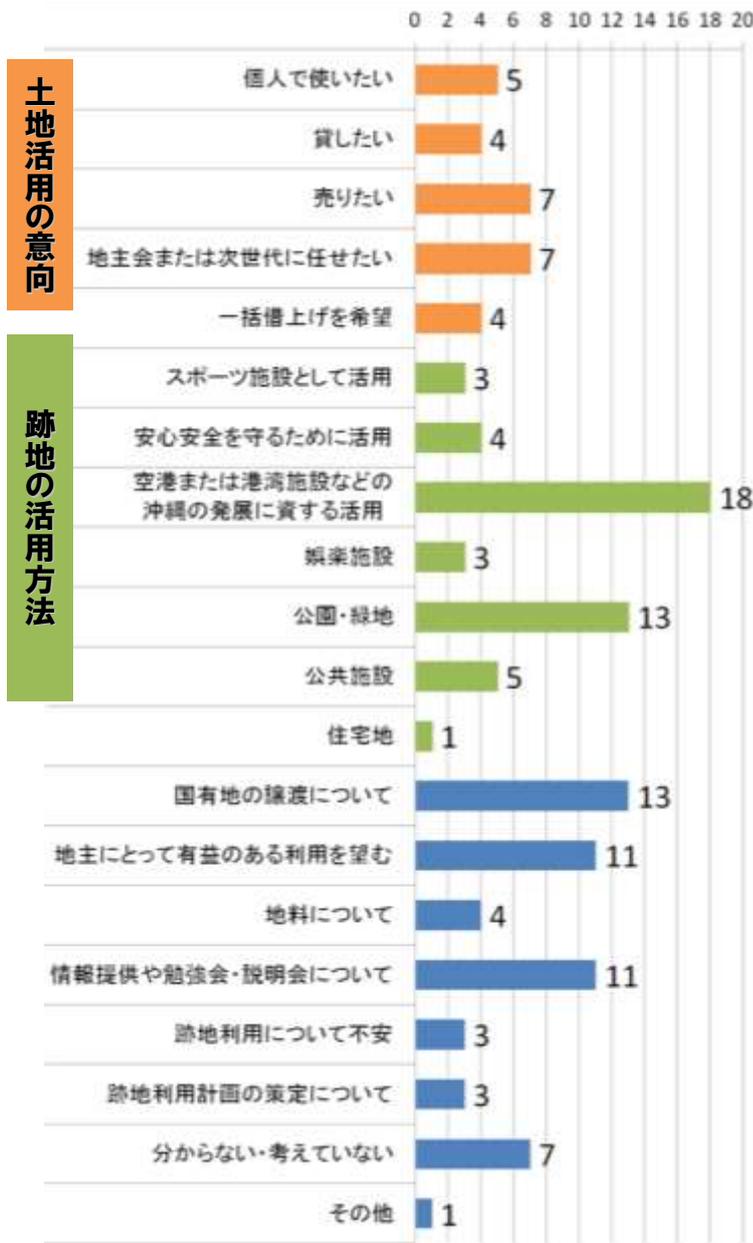
	回答数	構成比
垣花町垣花町	36	10.2%
垣花町 1 丁目	15	4.2%
垣花町 2 丁目	38	10.8%
垣花町 3 丁目	36	10.2%
住吉町 1 丁目	68	19.3%
住吉町 2 丁目	43	12.2%
住吉町 3 丁目	67	19.0%
鏡水崎原	8	2.3%
鏡水箕隅原	24	6.8%
その他	2	0.6%
無回答	16	4.5%
計	353	100.0%



● 土地の所有状況は 300㎡以下が約 7 割



問 7 最後に、跡地利用についてのお考えなどを自由にご記入ください。



返還後の土地活用について

売りたい

面積が小さく活用が難しいので売りたい。	70 歳～、那覇市外
現在 63 歳なので、後々のことを考えると売却できるなら売却したい。鹿児島県からはなかなか遠くに行く機会がないので。	60～69 歳、沖縄県外
公共機関に売りたい。	70 歳～、沖縄県外
所有面積が小さいため個人で利用はできない。そのため売却（特に公用地）したい。	70 歳～、那覇市外
道路、公園緑地にするため、土地を売る。	30～39 歳、沖縄県外
国に買い上げ希望です。	70 歳～、那覇市内
市か国が買い取ってほしい。	30～39 歳、那覇市内

貸したい

このまま貸し続けたい。	50～59 歳、沖縄県外
返還された場合の土地の利用について、まだ分からないと回答しておりますが、今後の考えとして那覇市の港湾都市計画や県の計画等があれば、土地を貸すことに賛	70 歳～、那覇市内

平成 24 年度 那覇軍港地権者等合意形成活動船体計画見直し検討調査業務 報告書より

成である。また、多数（90%以上）の地権者同志の意向に賛成していきたい。防衛庁等へ土地を貸すことにも賛成していきたい。	
今後も賃貸を希望する。区画整理により減少されると僅かな土地から道路などにとられると地主に残るものがありません。	70 歳～、那覇市内
国機関が整備利用し、継続的に貸す方向で考えてもらいたい。	40～49 歳、那覇市内
一括借上げを希望	
一坪地主が多いと聞いてます。国又は市、企業で一括利借り上げし、賃貸借契約を結ぶ等の配慮をしてほしいと希望します。	40～49 歳、那覇市外
空港に近い場所のため、国で一括管理（借り上げ）で今まで同様貸料収入を得たいです。この場所は全体の 50%が国で保有しているところから管理状態として発揮しやすい場所です。是非、沖縄の国際空港拡大に寄与したいです。	70 歳～、沖縄県外
那覇軍港は全体の 50%を国が保有しており、沖縄空港に近くまた自衛隊に近接している場所なので、国として一括借あげていただき、今まで同様に貸料の収入を要望いたします。	60～69 歳、沖縄県外
問 1-3、今さらあの広い軍用地を測量するのは（個人の所有地の測量）無理だと思う。共同所有の形の物を検討するのが望ましい。	70 歳～、那覇市外
個人で使いたい	
事業する。	無回答、無回答
事業する。	60～69 歳、那覇市内
自分の住宅を建てたい。	70 歳～、那覇市内
建物を建築予定	50～59 歳、那覇市内
自分で使う。	70 歳～、那覇市外
地主会または次世代に任せたい	
地主会にまかす。	60～69 歳、那覇市内
地元の皆様におまかせ致します。有効活用を願います。	60～69 歳、沖縄県外
住吉町の土地は 429.57 m ² で小さいので軍用地主会にまかす。	70 歳～、那覇市内
跡地利用の件は役員の方にお任せします。	70 歳～、那覇市内
国や県、組合等の考え方に沿った方が良いと思います。年をとっているので自分で管理するより、第 3 者（軍用地組合）等に任せて行きたいと思います。	60～69 歳、那覇市内
跡地利用は子供の時代となります。長男、次男にまかせます。	70 歳～、那覇市内
地主会で協議して多数の人々が納得できるようにして欲しいと思います。そのためには、地主会で慎重に検討して多くの方々から意見を集約できたらと思います。	60～69 歳、那覇市内
跡地利用の方法について	
スポーツ施設	
サッカー場にしてほしい。	30～39 歳、那覇市内
世界に通用するサッカースタジアム。	60～69 歳、那覇市外
奥武山との連携したスポーツ施設。全天候型サッカー場やドーム等。	70 歳～、那覇市外
娯楽施設	
ホテルの 1 階はカジノ、世界のどこかに行くのをくい止める。視察をして、安全な娯楽を目指し、海外からの魅力ある施設、沖縄は遊技場が一番多いのではないかと。それを一同に集めたらいいと思う。	60～69 歳、那覇市外
カジノ特区を設ける。地理的には最高と思う。	70 歳～、那覇市外
リゾートホテル、離島との連携で中心地とし、宮古、八重山への本格的海のレジャー、遊覧船、子供達、若い人のキャンプ施設、魚の集団飼育（海の中で）、船で見学、慶良間遊覧。	60～69 歳、那覇市外
安心安全を守るため	
海上自衛隊に使ってほしい。	60～69 歳、沖縄県外
米軍や海上保安庁、自衛隊等に日本、沖縄を守るために利用してもらい、平和を維持してもらいたい。	40～49 歳、那覇市内
海上保安庁、海上自衛隊に借り上げするか公園化するかを望む。	60～69 歳、那覇市内
防災対策（津波）も含めた地域づくり、街づくりをお願いしたい。	60～69 歳、那覇市内
空港または港湾施設など、沖縄の発展に資する利用	
地権者の一人として跡地利用の在り方について考察して見たいと思います。那覇軍港はすでに港としての機能を維持しているので、返還後もその機能を生かせる利用対策を検討するのもやぶさかではないと考えます。那覇港は本県への海上からの表玄関口として機能すれば、地域経済や観光客誘致への起爆剤の一翼を担うものであると考えます。観光立県を標榜する本県にとって、人員輸送港として構築することも可能ではないかと考えます。船旅（クルーズ船）で世界一周の時代が到来してい	70 歳～、那覇市外

平成 24 年度 那覇軍港地権者等合意形成活動船体計画見直し検討調査業務_報告書より

ます。	
沖縄の海と離島を満喫できる港の整備。一番重要なのが、モノレールの駅を必ず整備すること。飛行機から降りて、一駅で素晴らしい海を体験できる港へ行けることができるよう整備してほしい。(泊のターミナルは 20 年後には閉鎖することをお勧めします。) 地主は賃貸料か、軍港内の店を開く優先権か、巨大ビルの上のマンションを提供されるかいずれかで納得すると思います。	40～49 歳、那覇市外
海辺の開発。例として横浜のハーバー公園、遊歩道等を参考に船を携留した、グルメや海上レストランを設ける。	70 歳～、那覇市外
沖縄県全体の発展を考え、空港&商港をつないで(近郊地域を含め) 経済効果を最大に発揮した跡地利用をしたい。糸満、豊見城保管地域⇄那覇空港⇄浦添商港及び保管地域等を一連とした利用方法。	60～69 歳、那覇市外
人口、商業密集地那覇市のさらに貴重な臨海部の利用については、国家、地域の百年計画を図るべきと考える。その基本理念を理解した上で、民間事業よのバランスを図ると良い。	60～69 歳、沖縄県外
那覇港内の地主としては港を沖縄の貿易港の中心として最大限に活用し地主はそれに伴い土地利用計画が望ましい。何故なら那覇軍港内の地主は全体的に平均して面積が少なく、跡地利用に関して行政と総合的な計画が望ましい。(個人としての要望)	70 歳～、那覇市内
港湾施設として、那覇港と一体的に県や市が継続使用することが望ましい。	20～29 歳、那覇市外
那覇軍港の地主格位は所有面積が小さく各人は約 40～50 坪が大半である。これでは各人がどう動いても見通しは暗く、出来れば今の様な状態で国もしくはそれに近い状態で約 1000 人の地主が一致団結しこの土地を生かして行きたい。例えば保安庁、自衛隊(海上)等。	60～69 歳、那覇市内
空港と港を網羅した集荷ターミナル倉庫地を設ける。	70 歳～、那覇市外
空港関連施設及び港湾施設の維持と商業ビルとしてグリーンベルトで囲む。	60～69 歳、那覇市内
有益のある運用を望む。国際的ハブ空港を考えている。	60～69 歳、那覇市内
海辺のイベント。那覇ハーリーを昔の安謝港のように、軍航をメイン会場に移すモノレールとの輸送セットで集客が容易である。	70 歳～、那覇市外
離島航路を現在の泊港より軍港に移す。泊港は漁港として活用。	70 歳～、那覇市外
具体的なお願いはありませんが(小地主です)、大きなことは所有の土地面積では無理だと、戦後やっと一戸建て住宅を所有していますが住吉町 2 丁目の土地の半分の土地に住んでいます。軍港の土地に少々夢見る事業が可能か?例えば、横浜の港町みたいなにぎやかな国際的な港。海は車えびの養殖は可能か。予算はどうするか。具体的策が欲しいです。夢見ています。	70 歳～、那覇市内
県都那覇にふさわしい(東南アジアにふさわしい)街づくりを。	70 歳～、那覇市内
日本の南端と考えるのではなく、アジアの真ん中と考え、広く経済活動の中心となるような跡地利用を戦略的に考えるべき。	60～69 歳、沖縄県外
沖縄観光を国際的なリゾート地として確立したいのであれば、那覇軍港跡地は空港と近いので魅力的な立地であるのは間違いない。そこで全ての土地を利用したアウトレットモール(アジア最大の観光港。)	40～49 歳、那覇市外
沖縄県や那覇市の活性化につなげることが大切であると思う。	50～59 歳、那覇市内
公園・緑地	
ごちゃごちゃした街じゃなく、緑の多い街であってほしい。	40～49 歳、那覇市外
緑地公園など。	40～49 歳、沖縄県外
緑地公園など。	70 歳～、沖縄県外
緑地公園など。	40～49 歳、沖縄県外
緑地公園など。	70 歳～、沖縄県外
緑地公園など。	70 歳～、沖縄県外
公園緑地等に。	60～69 歳、沖縄県外
交通の利便性。地域の人々が安心・安全に利用できる公園緑地(花・水・木)等。環境を整えてほしい。子どもたちが思いっきり伸び伸びと遊べる公園(遊具が充実している。)大きなビル等は立てないでほしい。	40～49 歳、那覇市内
跡地については、大人や子供の遊びや憩いの場としての公園を確保してほしい。	70 歳～、沖縄県外
現在、他市町村に住み、当地に住居を構える必要がないので、跡地を公園等の公共的な使用目的で使うと良いかと思う。	50～59 歳、那覇市外
道路、公園などに利用(公共施設など)してほしいです。	40～49 歳、那覇市内
垣花は空港を結ぶ沖縄の重要な幹線道路なので、慢性的なラッシュアワー時の渋滞を解消するためにも新たな道路の建設や歩行者が憩う緑地帯の設置、運動公園等に有効利用してほしいと考えています。	40～49 歳、那覇市内

平成 24 年度 那覇軍港地権者等合意形成活動船体計画見直し検討調査業務 報告書より

返還されても跡地に住むことは全く考えていない。県、那覇市で買い取って公共用地として緑地公園にするか、自由貿易地域又は IT センターとして活用できないか。軍用地主会は垣花郷友会館を設置して、出身者の方々が有効活用できるよう計画実現に努力してほしい。	60～69 歳、那覇市内
住宅地	
道路整備を終えて、住宅地として返してほしい。	70 歳～、沖縄県外
公共施設	
空港から近く、目の前は海があります。立地条件は良い場所なので、公共施設として跡地を利用してもらえたらと思います。	50～59 歳、那覇市内
沖縄県、又は那覇市の公共事業に役立てたいと思っています。	70 歳～、沖縄県外
公共施設として沖縄県民に利用してほしい。	50～59 歳、那覇市内
住宅地としては、利用できる環境ではない。国や県の公的施設に利用するのが望ましい。	70 歳～、那覇市内
軍港跡地は返還された後、公的施設等に有効に利用していただきたい。	60～69 歳、那覇市内

地主にとって有益のある利用を望む

那覇市は地主の立場からメリットも考えて下さい。固定資産を考えてほしい。	60～69 歳、那覇市内
返還後の跡地利用がスムーズに行くように、利用計画を十分に図ってもらいたい。	60～69 歳、那覇市内
地主に不利な跡地利用はしないで下さい。	50～59 歳、那覇市外
返還と同時に使用出来るようにお願い致します。返還する前に区画整理してほしい。返還後に区画整理はだめです。	70 歳～、那覇市外
地主会の活動の一環で、琉大の先生(池田先生)の情報提供で、当軍港に water-front の施設を作ることと併行して共同建物を建て業者に貸与するとの計画が地主会の集まりで提供されていた。あの琉大の先生の当初の軍用港湾計画が戻つぽみになっている。改めて那覇市と軍用地主会で相談して、あの当初計画を提示し、吟味して会員の意見まとめをしてほしい。せっかく琉大の先生に金をかけて計画案を練ってもらったので、その当初計画を壇上に乗せて地主会の意見を反映してほしい。何時の間にか市役所の計画一辺倒になりそう。今一度、地主会(地権者)を中心に意見をまとめてもらいたい。	70 歳～、那覇市外
私の土地は護国神社の鳥居の道向かいで、フェンス(全網)の中で国道に面していて何時でも使用できる土地ですから早めに返還して欲しい。	70 歳～、那覇市内
返還されても地主に戻れない以上、跡地利用については地主が不利にならないよう十分考慮してほしい。行政は強硬手段に転じてくるので地主会と話し合い最善を尽くしてほしい。	70 歳～、那覇市内
まず、地権者に不利益にならないように跡地利用してもらいたい。もし港湾を埋めた場合、利用価値が広がるのでは？(利用方法が増えるのでは?)市が考えていることの本意が解らない。	60～69 歳、那覇市内
一番の関心は、返還されてから跡地利用が始まるまでの空白期間です。固定資産税なども大幅に上がっているのでは何十年もは待てないです。	60～69 歳、沖縄県外
地権者が最も懸念することは、開発行為の内容にもよりますが、地権者への負担行為があるや否や不透明な現状を時期的な説明等が必要ではないかと思えます。開発遅延の例として、「おもちまち」の開発行為は 20 数年も掛かったしるものである。本県はあのような轍を踏まないように努力しなくてはならない。利用計画の策定に当たっては、「費用対効果」を基本に最小限に留めることが地権者の安心に繋がる。地権者の高齢化もあり、若い地権者の組織を集結し、策定委員のメンバーとして、彼らの構想も取り入れることが、実効性の計画案に繋がる大きなメリットがあると察します。担当職員の皆様には大変なご苦労をお掛けしますが、よろしくお願い致します。	71 歳～、那覇市外
昨年 4 月に制定された跡地利用特措法は、支障除去に際し関係法令において放射性物質等が対象外となっているため、条文の不備が認められる。これでは原状回復措置の徹底が不十分であり、地権者が主体となる跡地利用への配慮が欠けているといわざるを得ない。将来跡地を使用する者の視点にたった条文の見直し、整備が求められる。合意形成活動も重要だが、その前にやるべきこととして、跡地利用に係る全ての法令についてつぶさに検証すべきではないでしょうか。	50～59 歳、沖縄県外

地料について

現在、地料で生活しておりますので軍用地なみに保障できれば幸いです。	60～69 歳、那覇市内
返還後、地主に対して跡地利用できるその日まで、地料を支払いするようにさせる	70 歳～、那覇市外

こと。3ヶ年、7ヶ年という話は良くない。地主は67ヶ年も協力している。防衛局は良く考えるべきだ。地主はもっと強く出て良いと思う。	
地主は賃貸料か、軍港内の店を開く優先権か、巨大ビルの上のマンションを提供されるかいずれかで納得すると思います。	40～49 歳、那覇市外
跡地利用にあたって地主が懸念するのは、那覇市が借り上げるにしろ借料の問題であると思います。よって跡地利用にあたってはそれを考慮に入れ、理想面で考えるのではなく経済性を最重視して考慮してもらいたい。	60～69 歳、那覇市外

国有地の譲渡について（道路、公園等の公共用地としての利用を望む）

公用地、県有地、国有地を道路、緑地、公園等に配慮して素晴らしい街づくりを希望する。そうすると県民に親しまれるのではないかと。国、県、市の積極的な対応を望む。	70 歳～、那覇市内
沖縄県の経済発展を第一に跡地利用を考えて下さい。道路や公園緑地等に利用して下さい。	30～39 歳、那覇市外
軍港の場合は、国有地が多く存在しておりますので、その土地を跡地利用計画の公園及び道路等に取り入れることを要望します。	70 歳～、那覇市内
会員の財産権保護を目的とした組織です。道路、公園緑地等は国有地を譲渡して充当をお願いしたいと思います。	70 歳～、那覇市内
34.7%を占める国有地を当該跡地利用計画の道路、公園緑地に充当し、その余裕ある土地は公共施設に充てる。国有地の譲渡をしてほしい。	70 歳～、那覇市内
国有地譲渡の実現に努力してほしい。	70 歳～、那覇市内
区画整理によって所有面積が減ることは困る。（所有面積が少ないので返還後の利用価値がなくなる）	30～39 歳、那覇市外
祖先より残された財産がないため、自分の所有地は全面積返してほしい。	70 歳～、那覇市内
小規模地主の跡地利用計画には、国有地の譲渡を取り入れた開発をお願いしたい。	70 歳～、那覇市内
整備にあたっては道路や公園をつくるため、個人の土地からは削ってほしくない。身勝手でしょうか？	70 歳～、那覇市内
いかにして減歩率を少なくしていくか。土地所有者等で共同使用する方法。	70 歳～、那覇市内
91 坪以下の所有規模の割合が 68%を占めており、跡地利用の場合、減歩率が問題になると思います。今後の研究課題と思われる。	70 歳～、那覇市内
軍港は空港に近く、沖縄県の玄関口であるから価値の高い場所である。跡利用はそれにふさわしい街づくりを計画したいと考えます。地主は長期間、故郷を追われ他郷での生活を余儀なくされているから、国の責任で地主に不利益とならないように配慮すべきと考えます。具体的には減歩について国有地を充てて、個人有地からの減歩は極力減らしてもらいたい。返還後の跡地利用計画の具体的な検討に入るべきかと考えます。具体案がないと本アンケートにも答えられない質問があります。	50～59 歳、那覇市内

情報提供や勉強会・説明会について

遠方のため現地の様子が全く分からない。HPの充実をお願いします。	50～59 歳、沖縄県外
新しく所有者になったため、内容がよくわからない。どうやって情報が手に入るかわからない。HPがあることも知らなかった。がじゃんびら通信を見てもHPのアドレスもないので、せめてアンケートにあわせて情報提供の資料も入れてほしい。	30～39 歳、那覇市外
勉強会、説明会等を催された時、その内容をCD & DVD等に収録し配布してほしい。	70 歳～、沖縄県外
がじゃんびら通信で、跡地利用・勉強会が開催されたのを読むだけです。跡地利用の合意形成が必要になるのであれば、広く勉強会への参加、跡地利用の計画（案）を周知させる必要があると思います。	40～49 歳、那覇市内
説明会、勉強会がありましたら、数か月前までにお知らせください。遠方なので準備がございませう。「がじゃんびら」も見ようになります。	30～39 歳、那覇市外
情報提供を継続してほしい。情報を多く得るために必要な対応してほしい。高範囲情報、知識を得るために今後とも行うべき。社会情勢の変化が激しいので、県都那覇として積極的に参加したい。	70 歳～、那覇市内
問2については、地主会未加入者とは何に対して未加入か分からない。勉強会ですが、軍港をどうやってしたいのかが分からない。目的をはっきりさせての勉強会だったらよいが、今までの勉強会のような意味が無い。	70 歳～、那覇市内
合意形成活動全体計画の見直しについては、那覇軍用地等地主会のもっと判りやすく一般的常識で詳しく説明してほしい。情報誌（がじゃんびら通信）が解りやすく	60～69 歳、那覇市内

読みやすいものにして、地主からの投稿欄も求めたいものです。(意見等)跡地利用については地主に有利な方向で積極的に検討して頂きたい。活動内容が地主会が満足できる回答を我々は望みます。	
抽象的で分かりづらいので、分かりやすい文章で情報を伝えてほしい。	70 歳～、那覇市内
第一ステージの全体計画の、地主会の組織決定はしているのでしょうか。それとも第二ステージで策定していく予定でしょうか。途中から会員になっているので分かりません。世代交代が進んでいるので周知が必要だと思います。	60～69 歳、那覇市内
Q1 に関しては、各項「・・・と言えます」となっていますが、自画自賛のようで設問記述としておかしいと思います。	
問 1-4、地主会の意見集約のための勉強会も何かと留守にされており、集約機会を設けたい。	70 歳～、那覇市外

分からない・考えていない

特に考えていません。	70 歳～、那覇市内
考えていません。自由に利用してください。	70 歳～、那覇市内
よくわからない。	70 歳～、那覇市内
今後どのような都市計画になるか詳細不明のため何とも言えない。	60～69 歳、那覇市外
軍用地関係に関しては、親まかせにしていたため、不勉強のいたりで「跡地利用について」意見と言われても、確たる意見を述べ得ない有様です。今後は自分の問題であり、よく勉強し、十分関心を持っていきたいと考えている。	70 歳～、那覇市内
私自身、手が震えて目もあまり見えないので協力できなくてすみません。これが精一杯です。	70 歳～、沖縄県外
本活動を知らなかったの(昨年購入したため)、今後は理解していきたいです。	30～39 歳、沖縄県外

跡地利用について不安

跡地利用について不安がある。	60～69 歳、那覇市内
いつ頃返還か？5年後か10年後か20年後か知りたい。	70 歳～、那覇市内
正直なところ、跡地利用を考えていますが、土地の形状や本当に利用可能な立地なのかを考えると不安です。インフラ整備の計画等含めても、返還後収入が途絶えた後、どの位の年月が必要なのかというのが最も気になります。	70 歳～、那覇市内

跡地利用計画の策定について

嘉手納以南の返還予定の地主会はずでに跡地利用について計画を進めていると聞いている。故に那覇軍用地等地主会も早めに軍港の跡地利用をどうするか計画すべきである。	70 歳～、那覇市外
大まかなイメージとしては、跡地利用広域構想(県作成の骨子素案)に示されているようなもので良いのではないかと思います。	70 歳～、那覇市内
返還日未確定の現状では、跡地利用計画の策定は第一ステージと第二ステージの計画案を準備することが好ましいと思われる。何故ならば、返還日確定後の社会情勢や経済情勢の変化で策定されたブループリントの見直しもあるかと思われる。そのことも考慮に入れて、策定委員会で検討されることが望ましいと思われます。	71 歳～、那覇市外